

都市デザインの広報について

1 都市デザインを知る、深める機会づくり

(1) 出張講義・登壇・執筆・視察受け入れ等

- 9 月 17 日 都市づくりパブリックデザインセンター都市デザイン講習会
- 10 月 23・31 日 横浜みなとみらい かもめスクール
- 11 月 6 日 土木学会デザイン賞 20 周年記念トークセッション
- 11 月 21 日 「デザイン賞歩道橋はどのように創られたのか」トークセッション
- 11 月 21 日 みっけるみなぶんインターン向けシンポジウム登壇
- 11 月 27 日 「ストリートファイターズ」出版記念トークイベント登壇
- 12 月 12 日 歴史を生かしたまちづくりセミナー&J I A 神川建築フォーラム登壇
- 12 月 17 日 アジアスマートシティイベント「ウォークアブルなまちづくり」登壇
- 1 月 25 日 ソトノバラジオ出演
- 2 月 4 日 川崎市立小学校社会科見学 児童約 200 名⇒緊急事態宣言発令のため中止
- 3 月 4 日 第 3 回マチミチ会議 ウェビナー発表
- 3 月 季刊誌「都市+デザイン」寄稿
- 3 月 22 日 国立大学附属小学校 ゲストコメンテーター

(2) 都市デザイン研究会

- 11 月 30 日 みっけるみなぶん現地解説

2 都市デザイン行政の強化【庁内向け広報・行政職員の育成・庁内連携強化】

(1) UD 通信の発行

- 第 78 号 降り立った瞬間に、“街を感じる” 個性ある地下駅舎「MM 線ホームドアデザイン」
- 第 79 号 新メンバー紹介
- 第 80 号 60 年以上に渡り市政を支えた 7 代目横浜市庁舎を改めて知る

3 研究機関との連携による都市デザイン活動の促進

(1) 大学連携事業

大学の知的資源・人材を活かし、都市デザイン活動の質を高めるべく、大学との連携事業に取り組んでいます。

今年度テーマ：令和 2 年度 関内における利活用の視点に立った道路空間に関する研究

取組期間：協定締結後、年度内まで

連携先：横浜国立大学野原研究室

4 都市デザイン行政の海外展開

(1) パナマシティ（パナマ）・バランキージャ（コロンビア）等南米諸国に対する「都市デザインビジョン」を活用した技術協力、及び風景スケッチブックを活用した都市デザイン推進ガイド

ラインの作成

世界銀行が南米において実施するプロジェクトで、都市デザインビジョン風景スケッチを用いたワークショップ等の実施により、公民連携による都市の魅力づくり・課題解決を目指すプロジェクト。元都市美対策審議委員等の協力も得ながら、パナマシティやバランキージャでのワークショップの実施に関わる技術支援を行うとともに、更に、南米諸国に同様の技術協力を行うための、風景スケッチブックを活用した都市デザインの推進のためのガイドラインを作成中。

2021年2月 ガイドライン（案）英訳版作成

2021年3月末（予定） ガイドライン（案）日本語版作成

5 景観ビジョンの展開

（１）景観まちづくり学習の展開

小学生等の早い段階から、地域や街への興味や愛着を持ってもらうため、教育の現場と連携して、景観を切り口とした授業を支援しています。

（ア）地域学校協働活動フォーラムへの出展

小学校の先生や学校地域コーディネーターを対象とする地域学校協働活動フォーラム（新型コロナウイルス対応のため、動画等による情報共有の形式）に出展し、景観の視点から地域の魅力を見つける「景観まち探検」について PR しました。

（２）事業者向け景観研修の実施

景観と関連の深い産業を営む事業者向けに研修を行うなど、企業と連携して景観づくりの発信の機会をつくっていきます。

（ア）観光関係事業者向けウェブ都市デザインセミナー

市民や来街者に横浜の魅力を伝える機会の多い観光業事業者の方々を対象に、横浜観光コンベンションビューローとの共催により、横浜の都市の成り立ちや景観・都市デザインについて解説するウェブセミナーを開催しました。

観光バスガイドの方など、25名の参加があり、皆さん興味深く聴講いただきました。アンケートでは回答者21名中20名が「事業に役に立つ」と答えてくださいました。当日の講義の動画については録画し、今後広く皆さまに視聴いただけるよう、準備を進めています。

（３）公共空間活用

公共空間においては、人の活動を考えた空間のデザインだけでなく、整備後における利活用の推進も行っています。

（ア）東横線廃線跡地の活用

令和2年度は、オリンピック・パラリンピックに向けた意識醸成を目的とした、市民局主催のイベントを開催しました。

10月18日 第3回活用実験「つながる、始まる。」



(イ) 道路利活用実験「みっけるみなぶん」

みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路では、道路の再整備に向け、令和2年11月9日から30日までの間、車道を狭めて歩道を広げる実験を実施しました。合わせて、拡幅した歩道部分に椅子やテーブルを置く「でっき」を7か所設置し、道路空間の利用・活用の可能性について検討しました。

